

《予知夢》

图书基本信息

书名：《予知夢》

13位ISBN编号：9784167110086

10位ISBN编号：4167110083

出版时间：2003

出版社：文藝春秋

作者：東野圭吾

页数：270

版权说明：本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介以及在线试读，请支持正版图书。

更多资源请访问：www.tushu111.com

《予知夢》

内容概要

精彩短评

- 1、神棍成分刚刚好.....
- 2、图书馆藏，继续手贱。套路，吐槽，莫名的科学小知识，还有某两人毫无止境的闪光弹.....
- 3、手法和推理很不错，但是动机和情节上有待考虑。
- 4、几个看似不可思议的事件，五篇短篇小说
- 5、东野第二本..我疯了..
- 6、orz就着中文本一句一句梳下来的第一本日版.....三桥晓的解说是怎么回事啦哈哈哈哈哈
- 7、仍旧是短篇合集，这次的案件更加诡异，可是我们的物理教授仍然是无敌的，开头可结尾都能呼应“预知梦”这个标题。还有续篇吗？
- 8、第二部
- 9、这次真正跟科学物理搭界看得我云里雾里的也就最后那一篇。。。于是物理水平跟我相当的草薙同学为什么还要去找物理学者汤川同学捏？？这是一个谜XDD
- 10、精读一遍，拌着伽里略2，很下饭的感觉~
- 11、东野圭吾 无疑是个伪本格真社会 好看的书也就那么基本 这不是推理 ...
- 12、第一本东野的启蒙书。
- 13、我为你精心设计一个遥远的梦，只要你相信它表面无垢天真的真实。
- 14、还是喜欢他的长篇啊。。
- 15、有些坑爹
- 16、以梦为主题，没有逻辑和刑侦的干货来支持，觉得有点略显平淡，还是习惯读他的长篇。
- 17、以文字形式出现的汤川学（“ ”）
- 18、斷斷續續在看今天終於想起來啃完這本。內容不少都在ガリレオ裡面看過不過隔了太久也有點忘了。。只是很容易腦部福山叔扶眼鏡的姿勢和だよな之類的話。。
- 19、一般般.....
- 20、higashino，你碎了吗
- 21、其实就只有最后那个预知梦最精彩！！！！
- 22、我看的唯一一部伽利略系列
- 23、每个短片都挺容易猜透的...
- 24、原来是中篇合辑。看似诡异的现象实则和案件有关，很多甚至是案件关键。自杀那篇在voice中有类似，但绝对没有这本书的精彩，看来东野圭吾是个很难超越的企及。最后那篇吓到我了==。有点恐怖
- 25、三星半，看多了都一个套路。不过伽利略大叔真帅啊.....
- 26、虽然对福尔摩斯不很熟悉，但觉得书中汤川与草薙和福尔摩斯与华生给人的感觉很像。非常喜欢汤川的知性理智冷静和过人的逻辑推理能力，最重要的还是冷不丁的幽默感~但是每个小短篇的结构都一样，有点失望
- 27、在地铁上看完的
- 28、草薙君真悲剧，拍电视剧被换成美女了，只好打酱油
- 29、缺点就是故事短了点儿。
- 30、2012-11-10
- 31、汤川系列从形式到内容都是去魅化进程的实例
- 32、这就是我看的第一部神探伽利略系列
- 33、这么看来保险金还真是常见的杀人动机啊~~

章节试读

1、《予知夢》的笔记-第13页

「いいことを教えてやるよ」草薙は牧田のほうに顔を寄せた。「人間ができてるのは、まだ刑事になって日が浅いからだ。この稼業を長く続けていると、だんだんと人間が壊れていく。うちの係長を見てりゃあわかるだろ」

牧田は吹き出した。

「草薙さんもかなり壊れちゃったわけですか」

「ああ、壊れたね。早いところ異動させてくれないと社会復帰できなくなる」

联动在这里.....

2、《予知夢》的笔记-第181页

湯川は短く唸り、写真を持ったままそばのベッドにごろりと寝転がった。死体が横たわっていたベッドだ。鑑識の作業はすでに終わっているから捜査に影響はないが、よく平気でそんなことができるものだと草薙は学者の無神経さに感心した。

3、《予知夢》的笔记-第210页

「してやられた、ということなのかな」

「まあいいじゃないか」湯川はさらりといった。「僕は無事に保険金が支払われることを祈るね。一年以内の自殺だろうが何だろうが、矢島家が大黒柱を失ったことは事実なんだから」

「でもこれは犯罪だ」

「ルール違反かもしれない。だけど一年という数字にどんな意味があるんだい？」

湯川の問いに草薙はうまく答えられなかった。ルールだから、としかいいようがない。

その時だった。彼の携帯電話が鳴りだした。出てみると牧田からだった。別の事件が起きたという知らせだった。

「出勤だ」彼は立ち上がった。

「今度は事件をここへは持ち込まないでくれよ」

湯川の声の背に受けながら、草薙は部屋を出た。

4、《予知夢》的笔记-第127页

湯川はライターの火をつけ、それでバーナーに点火した。ゆらゆらと燃え上がる炎が、空気を調節してやることで、鋭く青い炎に変わった。彼はその炎をガラス棒に近づけていった。ガラス棒の下にはレンガを置いてある。

バーナーの炎で熱せられ、ガラス棒は少しずつ赤くなっていった。今にも溶けそうなほどだ。やがて驚くことが起こった。電球が、ぱっと明るくなったのだ。つまり電流が流れたということになる。草薙は思わず、あっと声を出していた。

「ガラスの主成分はケイ素イオンと酸素イオンだ。固体のときは、この両者はがっちりと結合している。ところが熱で溶かされることによって、この結合が緩むんだ。プラスの電荷を持ったケイ素イオンはマイナス側に、マイナスの電荷を持った酸素イオンはプラス側に引かれる。結果、電流が流れたことになる」

湯川の説明の意味が、草薙にはよくわからなかった。だが目の前で半分溶けかけているガラス棒が、ふだん目にしているガラスとまったく違う性質を持つということにはわかった。

やげて湯川はバーナーを消した。これで実験は終わりらしいと草薙は思った。ガラスが元に戻り、

《予知夢》

電流が流れなくなって電球も消えると思った。しかし違った。バーナーの火を受けなくなってもガラス棒は強い光を発し続けている。電球も点ったままだ。

「ある程度以上の電流が流れ始めると、それによる抵抗発熱でガラス棒自体が熱を発し続ける。そうなれば外部から熱を与えてやらなくても、電流は流れ続けるわけだ」

「へえ。なんか、犯罪を重ねる人間の心理みたいだな」草薙はいった。

「どういうことだ」

「最初は動機があったわけだよ。その動機のせいで熱くなり、犯行に走る。ところがそのことでさらに頭が熱くなり、前後の見境がなくなり、次の犯行に及ぶ。悪循環の見本だ。気がついた時には、最初の動機なんかどうでもよくなっている」

ははは、と湯川は笑った。「なるほど。たしかに似ている」

「どこかでスイッチを切らなければ、こうだ」

湯川はガラス棒を指した。赤く激しい光を発していたガラス棒は、やがて自らが発する熱により溶断した。ここで電球も消えた。

「最後には自らを滅ぼす、ということだな」

5、《予知夢》的笔记-第162页

「ポルターガイストのことは、霊の仕業だというつもりか」湯川が訊いてきた。ドアに向かいかけていた草薙は振り返っていった。「もちろんだ。いけないか」

「いや」と物理学者は首を振った。

「じゃあな」草薙はドアを開けた。

「草薙」

「なんだ」

湯川は少しためらいを見せた後でいった。「しっかりな」

草薙は片手を上げ、部屋を出た。

6、《予知夢》的笔记-第240页

「君はふつう、人は一晩でいくつくらい夢を見ると思う？」

「さあ。考えたこともないな」

ふん、と鼻を鳴らしてから湯川はいった。

「夢を見るのはレム睡眠の間だ。このレム睡眠期は一晩に五回ほど訪れる。その間に、かなり多くの夢を見ている。その中にさらにいくつもの話題が含まれている。そして人は夜になるたびに眠る。すると、ある人がたとえば一か月の間に夢によって獲得するエピソードは、膨大な数にのぼることになる。そうなれば、その中には現実の出来事と似通ったものがあったとしても不思議ではない」

「だけど俺はめったに夢をみないぜ。見ても、せいぜい一つだ」

「それは夢の大部分を忘れているからだ。覚えているのは、目覚める直前に見たものなんだ。だけど忘れた夢の内容を思い出すことがある。その一つが、現実に似たような出来事が起きて、それに触発された場合だ。あっ、これはいつか夢で見たことがある。そんなふうに思い出すのさ。同時に、現実には起きなかった膨大な夢のことは忘れ去ってしまう。というより、夢を見たことさえ記憶していないんだ。君のようにね」

《予知夢》

版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:www.tushu111.com